



老人クラブの会員とふれあいながら収穫する児童ら

孫世代とのふれあい交流

広田梅林で梅の収穫

6月8日、広田梅林ふれあい公園で、広田小学校3年生の児童 55人と広田保育園の園児 40人が参加し、園内の清掃などの管理を担う老人クラブ連合会緑地区の会員らと梅の実を収穫して交流しました。

古くから梅の名所として知られている広田地区では、毎年、梅の収穫時期に地元の小学生らを招き、収穫・選果などの共同作業を通して、郷土の名産を次世代に引き継ぎ、大切にすることを目的として交流を行っています。

児童たちは、同連合会緑地区の会員に収穫のコツを教えてもらいながら、道具を使って一生懸命に収穫していました。

大正時代の献上鯛（干物）作りを再現

南あわじ漁協「献上鯛まつり」

6月11日、美菜恋来屋で「献上鯛まつり」が開催されました。

丸山漁港で水揚げされるタイは大正から令和にかけ、4代にわたり天皇陛下に献上されてきました。地元で取れる魚の魅力を広めようと、この日は白装束に身を包んだ南あわじ漁協の組合員が大正時代に行われた伝統的な加工方法を再現。選別されたタイのうろこや内臓を取り除き、背開きした後に干すところまで実演しました。実演終了後には、「鯛から揚げ」が振る舞われ、訪れた人たちは地元の魚の味に舌鼓を打っていました。



01



01 実演をした南あわじ漁協の組合員の皆さん
02 献上鯛（干物）作りの実演

福良小学校創立 150 周年記念行事

「ふくら」の人文字を撮影

明治6年5月10日に創立した福良小学校は、今年で150周年を迎えました。

5月25日、創立150周年記念行事の航空写真撮影が行われました。写真は、校庭に全校生173人と教職員19人の計192人で作った「ふくら」の人文字を飛行機から撮影。児童らは、撮影を行う飛行機が校庭上空を横切ると歓声を上げていました。

このほかの記念行事としては、懐かしの競技を復活させた体育会を5月20日に開催し、秋にはオープンスクールを計画しています。



「ふくら」の人文字と撮影を行う飛行機（中央上部）



撮影に奮闘する小石さん（左）と濱口さん



広報紙の編集作業も体験

トライやる・ウィーク 三原中学生が

南あわじ市広報

の仕事体験!



シャッターチャンス!

二人が撮影した写真がこちら!



☎ 43・5038
（南あわじ市中央公民館内）
閩市文化協会事務局

【芸能部門】
大正琴、舞踊、和太鼓、三味線、
伝統芸能、郷土芸能など
▼日時 7月9日(日)午前10時開演
▼場所 中央公民館2階大ホール

【カラオケ部門】
▼日時 7月8日(土)午後1時開演
▼場所 中央公民館2階大ホール

【展示部門】
▼場所 中央公民館
(午前9時～午後5時)
●手工芸・文芸 7月2日(日)まで
●書道 7月5日(水)～9日(日)
●絵画 7月12日(水)～17日(月)・祝
●盆栽 7月8日(土)～9日(日)



第15回南あわじ市
ふれあい文化芸能祭